

新冠にまつわるお話しを集めた 新冠百話

第七十話

「新冠川を遡上しなくなった

サケ神の物語（伝説）

（要約文）

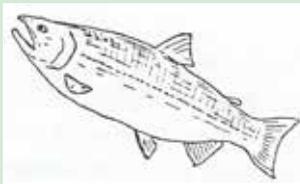
私はサケの神です。神々の国に暮らしていましたが、人間たちの村を見てみたいものだなあと思いました。そうして、私と仲間が海の中を陸地に沿って進み、人間の国へ遊びに出かけることにしました。

やがて、鶴川の村の近くに私たちはたどり着きました。この川を遡上して行くかと考え、私たち仲間が杓子（しゃくし）を取り出して川の水を汲み、味見をしてみました。ところがとてもまずいのです。「この水は味が悪いなあ」と口々に言っ、もっと美味しい水のある川を見つけて遡上しようとして先へ進みました。今度は、厚別川の河口にやって来ました。そこでも川の水を汲んで味見しましたが、またも水の味が良くないのです。

そして、今度は新冠川の河口にやって来ました。例によって、水の味見をしました。すると、実に美味しいのです。「何とまあ、水の美味しいこと」と口々に言い、この川を遡上していくことを決めました。新冠川

に沿って、私たちの群れの先頭から群れの末尾まで、体をはねながら、身を踊らせるように進んでいきました。川上へ向かって私たちがのぼっていくと、ピポク（判官館の岩の陰）に住む若者が、川のそばで「マレク」という突き鉤（かぎ）で私たちを狙っていました。私たちの仲間は突き鉤によって陸にあげられると、ヤナギで作った「イサパキクニ」という魚を叩く棒で頭を叩かれ、息絶えさせられました。イサパキクニで頭を叩かれると、たとえ息絶えても自らは神としての扱ひを受けることになるので、私の仲間たちはとても喜びました。それから、捕獲された仲間をあとにして、私たちはさらに川に沿ってのぼりました。すると、別の若者がマレクによって私たちを陸に上げました。ところが今度は、草刈り鎌で頭を叩かれたのです。草刈り鎌というのは、悪い魔物をそれで叩いて追いはらうと、きにするものなのに、その草刈り鎌で頭を叩かれたものだから、私たちの仲間は、自分が哀れになつて泣きながら神の国に戻つていったのです。

たぐさんの鮭が湖上しないという話は、そういうことがもとになっているのです。と、魚を統率する神は語りました…。



戸籍の窓

6月20日～7月20日までの届出分（敬称略）

●いつまでもお幸せに

錦戸 知明 ♡ 板津 恵美子 北星町

●お誕生おめでとうございます

泉 太た耀よう（歩ぱ 菜ま央ま）本 町

●おくやみ申し上げます

蔭 光信 65歳 太 陽
白浜 敏 103歳 共 栄
伊藤 光治 84歳 新 和
谷崎 ヒロ子 88歳 北 星 町
宮本 孝雄 86歳 東 町
谷藤 愛子 80歳 本 町
中谷 ウメノ 97歳 本 町
中川 米由 88歳 本 町

●お問い合わせ先

町民生活課町民生活グループ住民係
☎ 0146・47・2112

～海・山・川 ルールを守って みな笑顔～

事故が無く楽しいレジャーを過ごしましょう。

消防署新冠支署

火災・救急出動状況 () かつこ内は前年同期			
区分	火災件数	救急件数	災害出動件数
7月	1件 (0件)	19件 (34件)	1件 (3件)
6年1～7月	4件 (3件)	150件 (201件)	10件 (15件)
交通事故発生状況 () かつこ内は前年同期			
区分	発生件数	死者	傷者
7月	1件 (1件)	0人 (0人)	1人 (1人)
6年1～7月	2件 (2件)	0人 (0人)	5人 (2人)

人のうごき

(令和6年7月末現在)

人口 5,081人 (前月比 - 2人)
男 2,547人 (前月比 - 1人)
女 2,534人 (前月比 - 1人)
世帯 2,833世帯 (前月比 + 1世帯)